

6月定例記者会見会議録

平成29年6月2日（金）午前11時～
市役所2階 市議会第1委員会室

1. 市長からの発表

夏のような日が続いておりますので、熱中症には十分お気をつけください。

皆さんご存知のとおり、4月28日に伊賀市と共同申請していた「忍びの里 伊賀・甲賀～リアル忍者を求めて～」が日本遺産に登録されました。今後はこれまでに以上に「忍者」というコンテンツを活用し、世界に発信していきたいと思っております。

そのような中、織田信長の天正伊賀の乱を舞台とした映画「忍びの国」が7月1日に封切りされ、上野の映画館でも上映されるようです。

また、11月3、4日に忍者トレイルランニングレース実行委員会の主催による「NINJA TRAIL RUN」のイベントがさるびの温泉をスタート・ゴール地点として開催されます。

このようなことも含め、より多くの皆さんが忍者をキーワードにした果実を得るべく頑張っていただけたらと思っております。

さて、本日の会見で私からの発表は2件あります。

まず、資料No.1の【フラット35】地域活性化型及び移住促進のための空き家リノベーション事業に係る相互協力に関する協定締結についてです。

市が実施している「移住促進のための空き家リノベーション事業」の補助金を受ける県外からの移住者の方が、自己資金の確保のために、独立行政法人住宅金融支援機構から低金利で融資を受けることができるよう、市と住宅金融支援機構が、5月25日付で、協定を締結いたしました。

この協定により、移住者の方が、5年間について借入金利より年0.25%低い金利で機構から融資を受けることができます。また、この低利融資について住宅金融支援機構が広く周知を行うことで、融資制度が利用できる伊賀市への移住を促進する効果があると考えています。

愛知・岐阜・三重管内では、6つの市が、住宅金融支援機構と協定を結び、6月1日から施行されています。なお、子育て支援型の補助制度を5月25日付で創設しましたので、今後、これについての協定の締結も進めていく予定です。

次に、資料No.2の「公共交通機関利用促進事業の取り組み」についてご説明いたします。

この取り組みについては、市内の鉄道やバス路線（公共交通機関）の維持・活性化に加え、二酸化炭素の削減など環境に対する負荷の軽減及び個人の健康増進などを主な目的として実施するもので、平成23年度の開始以降7回目となります。今年度も7月1日から9月30日までの3ヶ月間を期間として実施いたします。

取り組みの内容につきましては、住民向けに啓発用ポスター・物品の作製、配布や、

市内企業等へのポスターの掲出依頼、訪問による協力依頼を行う予定です。

また、行政情報チャンネルの特集番組制作、放送、広報いが市で啓発コラム掲載、市ホームページなど各種広報媒体の活用などによるPRを行い、7月からの実施につなげたいと考えております。

市内の公共交通は、マイカーへの依存等により利用者の減少が続いており、維持存続が大変厳しい状況にあります。特に、今年4月からは伊賀線の運営が公有民営方式に移行し、まちづくりと一体となった活性化策や利用促進策の実施など、市民や地域の支えがますます求められてまいります。更なる公共交通の利用促進に向け、市民、企業等へ呼びかけて参ります。

【主な質疑応答の概要】

(地域活性化型及び移住促進のための空き家リノベーション事業に係る相互協力に関する協定締結について)

記者：【フラット 35】地域活性化型及び移住促進のための空き家リノベーション事業に係る相互協力に関する協定締結について、6市とはどこの自治体ですか。

担当課：愛知県西尾市、岐阜県高山市、岐阜県飛騨市、三重県四日市市、名張市、伊賀市です。

記者：子育て支援制度となぜ開始時期が違うのですか。

市長：支援のパターンには地域創生型と子育て型と2つあるのですが、伊賀市としては両方ともあったのですが、子育て支援型の手続きが遅れたということです。その両方を行います。

(公共交通機関利用促進事業の取り組みについて)

記者：公共交通機関利用促進事業の取り組みはこれまでもされていますか。

担当課：今年で7回目となります。

記者：この期間だけではなく公共交通機関を使いましょうということですね。市役所新庁舎が完成して職員用の駐車場を計画されていますが、その駐車場料金について、現在どのように考えられていますか。

市長：基本的に職員は公共交通機関を利用して出勤していただきます。交通機関の兼ね合いなどで、自家用車利用をされる場合には駐車場に停めていただきます。その場合には、駐車場料金をご負担いただきます。

記者：駐車場料金を徴収するということですね。具体的に月極ですか。

市長：いろいろ考えられると思います。基本的には公共交通機関を利用していただきます。公共交通機関が難しい地域の方は継続使用になりますので様々なパターンがあると思います。

2. 6月の主な行事予定

(1) 2017年6月 寺田市民館「じんけん」パネル展 の開催について (資料No.3)

日時：6月1日(木)～29日(木) 午前8時30分から午後5時(平日のみ)

※ 6月13日(火)・20日(火)は午後7時30分まで延長

場所：寺田教育集会所 第1学習室

内容：『不快な言葉・差別につながる言葉』

主催者：人権生活環境部 寺田市民館（電話：0595-23-8728）

(2) 2017年6月 いがまち人権センターパネル展の開催について（資料No.4）

日時：6月6日（火）～22日（木）午前9時から午後5時（平日のみ）

※ 6月8日（金）、15日（木）、16（金）は午後7時30分まで延長

場所：いがまち人権センターホール

内容：「LGBT（性的マイノリティ）を考える」

主催者：人権生活環境部 いがまち人権センター（電話：0595-45-4482）

(3) 男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2017」の開催について（資料No.5）

日時：6月17日（土）午前11時から午後3時40分

場所：あやま文化センター

内容：女性も男性も共にいきいきと生きられる社会をめざし、「笑って笑って〈イクイガ〉～私だったら、あなただったらどうする♪♪」をテーマとして男女共同参画フォーラムを開催します。

主催者：伊賀市男女共同参画ネットワーク会議・伊賀市人権生活環境部
人権政策・男女共同参画課（電話：0595-22-9632）

3. その他

【主な質疑応答の概要】

（共謀罪について）

記者：市長は先日共謀罪に関して、或いは以前に集団的自衛権に関して、ものをはっきり言ってくださる方なのであえて伺います。安倍首相が本来は公職者、市長も公職者、公職者は憲法99条で1番憲法を守らなければいけない立場にも関わらず安倍首相は憲法9条を変えると、最近そういう動きが加速されていますけど、その辺について岡本栄さんはどのようにお考えですか。

市長：個人的な見解として、公務員は憲法を守ることが最大の義務であろうかと思っております。

（元ウィッツ青山学園高等学校について）

記者：ウィッツから支払いのことをお尋ねします。支払いや何か動きはありましたか。

担当課：5月の記者会見でも申し上げましたとおり、現在請求を何度か行っていますが、未払いの状況が続いているというのは今も変わりません。法的な手続きの準備を進めなければならないと考えております。

記者：5月の会見のときに支払いに関する通知をする準備をしているとのことでしたが、それは通知したのですか。

担当課：5月15日付けで5月25日納期限の督促状を出しました。ここには払っていないと法的な手続きを踏まざるを得ないという明文を付けています。

記者：現在も未払いですか。何か返事はありましたか。

担当課：返事はありません。先方とは払っていませんという確認をとらせてもらって

います。払っていないということは相互確認をしました。

(映画「忍びの国」について)

記者：映画「忍びの国」の件ですが、残念ながら伊賀ではロケ地がありませんが、その映画について感想を教えてください。

市長：先般、東京で試写会があり、観光協会の会長さんがご覧になったというようなことです。大変面白い映画だろうなという風に私も期待をしております。主演の大野さんは大変忙しいんでしょうロケ地は東京近郊ということでありましたけど、時代背景は天正伊賀の乱、織田軍と伊賀忍者の対決です。出てくる地名等々は実際にリアル忍者であります。私どもと致しましてはロケ地にはなっておりませんが、可及的速やかに関連マップをしっかりと作ってこの聖地めぐりに来ていただけるようにしたいと思っていますし、大いに期待をしているところであります。

記者：関連マップということですが、観光戦略課さんが担当されるということですか。

市長：観光戦略課或いは観光協会とコラボということになるかと思えます。

(コンビニ出店、大手コーヒーチェーン店について)

記者：セブンイレブンが出店され、大変盛況らしいのですが、どういう風にご覧になりますか。大手コーヒーチェーンのことも、実際に出店されたらどうなるのかなと。

市長：セブンイレブンというのは我々伊賀人にとっては本当に見る事のない店舗であったわけですが、日本的に言いますと日本で一番大きなコンビニエンスストアということでもあります。そういう意味では、この地域にも選択肢が増えたということでもありますので、老若男女が好んでいただけるようなそんな選択肢が増えることは大変望ましいという風に思っております。滋賀県の甲賀市役所は隣の方にそういう大手コーヒーチェーン店が出店しているということではありますが、老若男女大変賑わっているという風に聞いております。それ以上でもそれ以下でもございません。